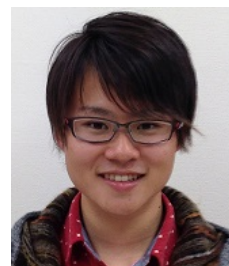
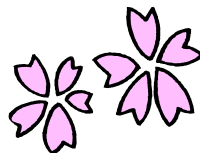


## Topic 1

## ◇今春入試合格体験記 第3弾 合格者喜びの声

### 渡辺 航大くん

- 合格大学：明治大学 文学部 史学地理学科
- 学校名：県立熊谷高校 ■校舎名：熊谷中央校



#### ●合格を手にしての感想

明治大学が第1志望だったため、とにかく合格だと分かったときはうれしかったです。センター利用入試での合格だったため、意外とあっけないと思ったのも事実です。とにかく高校受験より大変な受験だったので、今まで生きてきた中でトップクラスの喜びであることは間違いないです。

#### ●大学・学部を選んだきっかけは？

小学生の頃から社会科が好きで、また得意でもありました。しかし大学でも社会科の分野を、特に地理についてやろうと決めたのは高2の冬ころで、とにかく好きなことをやろうと思い、決めました。地理学科がある大学をいろいろと調べ、最終的にはネームバリューで決めました(笑)。

#### ●俊英館に通塾して良かったところは？

とにかく平日は毎日塾に行って映像授業と自習をやっていたら、自然と成績が上がりました。気軽に質問できるところが良かったと思います。国語の先生からもらった自分用の特別な古典のプリントが定期テストでも、受験勉強においても非常に役立ちました。

#### ●後輩へのアドバイス

1, 2年生のうちは英語は単語と文法を、国語は古文の単語や文法を、社会科は定期テストを頑張ってください。英語のオススメの参考書は『Duo』です。本とCDの組み合わせで取り込む教材なので、音でおぼえられ、発音・アクセントはもちろんイディオムや前置詞の使い方まで音で記憶に残すことができます。自分はこれを3年の4月から始めましたが、1年でセンターの得点を60点以上のばすことに成功し、センターの本番では9割近い得点が取れました。この『Duo』を1, 2年から始め、3年からはさらに上位の教材を使えばセンターで9割5分を取るのも夢ではないと思いました。

本当に疲れているときは仮眠をとってから勉強しました。受験勉強は量より質だと思います。疲れてだらだらやるよりも、完全な状態の体調で集中したほうが良いと思っています。

映像授業は現代文の講座がオススメです。現代文は一人では勉強しにくいので、映像授業を取った方が効果が早く現れて、やる気が出ます。

### 引馬 亮太くん

- 合格大学：日本大学 生産工学部 電気電子工学科
- 学校名：県立川口北高校 ■校舎名：鳩ヶ谷校

#### ●合格を手にしての感想

私が本格的に受験勉強をはじめたのは夏休みに入ってからです。この夏休みで基礎問題を繰り返し解きました。夏休みは長いようで短いです。少し息抜きをしながら時間を大事に有効的に使ってください。9月まではさらに繰り返し基礎問題を解き、10月から少しずつ志望する大学の赤本を解きました。1月に入るまでは私立の赤本を解き、1月からはセンターの赤本を解きました。どちらも赤本を解きながら傾向をつかみ、時間配分も考えながら解いてください。

大学受験は、高校受験とは比べものにならないほど過酷で厳しいものであると痛感しました。

#### ●後輩へのアドバイス

効率の良い勉強の仕方を見つけると良いと思います。小テストが教科ごとにあると思います。その小テストをバカにせず、一生懸命取り組んでください。

## 飛渡 萌さん

■合格大学：東京家政大学 家政学部 栄養学科

■学校名：私立普連土学園高校 ■校舎名：小竹向原校



### ● 合格を手にしての感想

私は緊張すると気持ちが悪くなったり、腹痛がしてしまいます。ですから試験当日はどれだけリラックスして自信をもって受けられるかが重要でした。そこで私は超ポジティブに試験を楽しもうと思い、「どんな問題に出会えるだろう」と無理やりにでも思って試験に臨みました。これが良かったのか、合格することが出来ました。正直、嬉しさより驚きが勝っていますが、合格できて良かったです。ほっとしています。

### ● 将来の夢や目標は？

将来の夢は2つあります。1つ目は管理栄養士としてスポーツ選手のサポートをすることです。妹が部活を頑張っていて、「私は妹に何をしてあげられるだろう」と考えたとき、食事に目をつけたことがきっかけです。2つ目は管理栄養士の知識を活かしてカフェを営むことです。人生にはつきものであり、また多くの時間を占める“食”を、多くの人により楽しんでほしいと思ったからです。

### ● 俊英館に通塾して良かったところは？

俊英館の先生方はとても親身になってくださり、相談もとてもしやすいです。ほんとうにありがとうございました。

### ● 後輩へのアドバイス

まず、当たり前ですが絶対にさぼったり遅刻したりしてはいけません。一度してしまうとクセがついてしまいます。また、1、2年生のうちになにか熱中してやりとげるものがあると良いと思います。部活でも委員会でも趣味でも何でもいいです。私は部活も委員会も中途半端で、全体的にあまり充実していない高校生活を送ってしまいました。今振り返ってみると、何か1つでも良いから熱中して打ちこんでおけばよかったと後悔しています。そして何かに熱中することは、受験勉強にもつながってくると思います。高校の3年間は、その時にしか経験できないものの塊だと思うので、充実した楽しいものにしてほしいです。

## 堤 純一くん

■合格大学：国立東京海洋大学 海洋科学部 海洋生物資源学科

■学校名：県立川越高校 ■校舎名：狭山入曽校

### ● 将来の夢や目標は？

将来は、水族館に勤めペンギンの飼育員になりたいと考えています。小学校のとき、クラスメイトに「堤君って将来ペンギンの飼育員やってそう！」と言われ、その時は自分はペンギンの飼育員になるのかな…という程度でしたが、気づいたときにはそれが目標に変わっていました。そのクラスメイトには心から感謝しています。誰かは覚えていませんが！？

### ● 後輩へのアドバイス

部活を最後まで頑張れるくらいの根性がなければ受験を乗り切れるわけがありません。自分はテニス部に所属し、帰るのは夜8時半頃でしたが、夕食、風呂、筋トレ&ストレッチをして、それから勉強をする体力は残っていませんでした。しかし、引退後、部活のために使った時間はすべて勉強に費やしました。秋頃の土日は1日に13時間くらいやりました。きっと部活や生徒会活動など、何かに熱中すれば、その分受験期には勉強に熱中できるはずです。

それと、絶対に学校の授業を無駄にしないことです。学校の授業を聞かなくてもできるのは本当に限られたごくわずかな人だけです。自分自身、学校の授業はちゃんとやろう！という自覚だけはあったので、特に受験勉強を始めたときに、化学の吸収が速かったように感じました。あとは勉強を始めたら気合と根性で乗り切ってください。自分は、1度遊んだら絶対に遊び続けてしまうという思いがあり、1年間ほとんど遊ばず、登校中も勉強しました。もちろん勉強時間が全てではないですが、周りの誰よりもハングリーに勉強しているという自信は本番でも強みになりました。

大学受験は、おそらく高校受験の何倍も苦しむと思いますが、終わったときの爽快感もまた格別です。みんながんばれ！！

# ◇ 大学入試を基礎から知る

## 第12回 <国公立大個別試験のポイントはこれ！>

### ■ 受験チャンスは2回。第1志望は前期が鉄則！

国公立大の一般試験では多くの場合、「センター試験の得点」+「個別(2次)試験の得点」の総合点で合否が決まる。個別試験は各大学が独自に行う試験のことで「前期日程」と「後期日程」の2つの日程で行われる。出願できるのは各日程1大学のみ。つまり、国公立大の受験チャンスは2回が基本だ。公立大は「中期日程」で入試を行っているところもあるため、これを入れると受験チャンスは3回。試験のイメージは「センター試験=幅広い基礎学力」+「個別試験=志望学科への適性や学力を深く問う」という2段階で捉えるとわかりやすい。

[前期日程] & [公立大中期日程] 基本的には学科試験(筆記)。文系は「国語、数学、英語」、理系は「数学、理科、英語」のなかから1~3教科が多い。医療系では面接や小論文、教員養成系では加えて実技が課される場合が少なくない。

[後期日程] 面接や小論文、実技を課す大学が多い。学科試験だけでは計れない力を見る。

### ■ 特徴的な制度

[2段階選抜] センター試験の成績だけで選抜される制度(第1段階選抜)。ここでの不合格は“門前払い”を意味し、個別試験を受験することができない。難関大や医学部を中心に、各大学があらかじめ発表した倍率(志願者数÷募集人員)を超えた場合に行われる。

[前期のみの大学] 難関大や医学部を中心に、募集が「前期のみ」のところも多い。その大学・学部が第1志望の場合、受験チャンスは1回だけとなる。

[第2志望登録] 各日程で出願できるのは1大学だけだが、同じ学部内の他の学科を第2志望として登録できる大学も多い。第1志望学科で不合格でも、第2志望で合格する可能性がある。

### ■ 2016年度 国公立大入試のおもなスケジュール

